

# 梁ぞっこん

(梁下先埋め戻し工法)

## 施工要領書

特許取得・施工工事業者 真輝工業株式会社

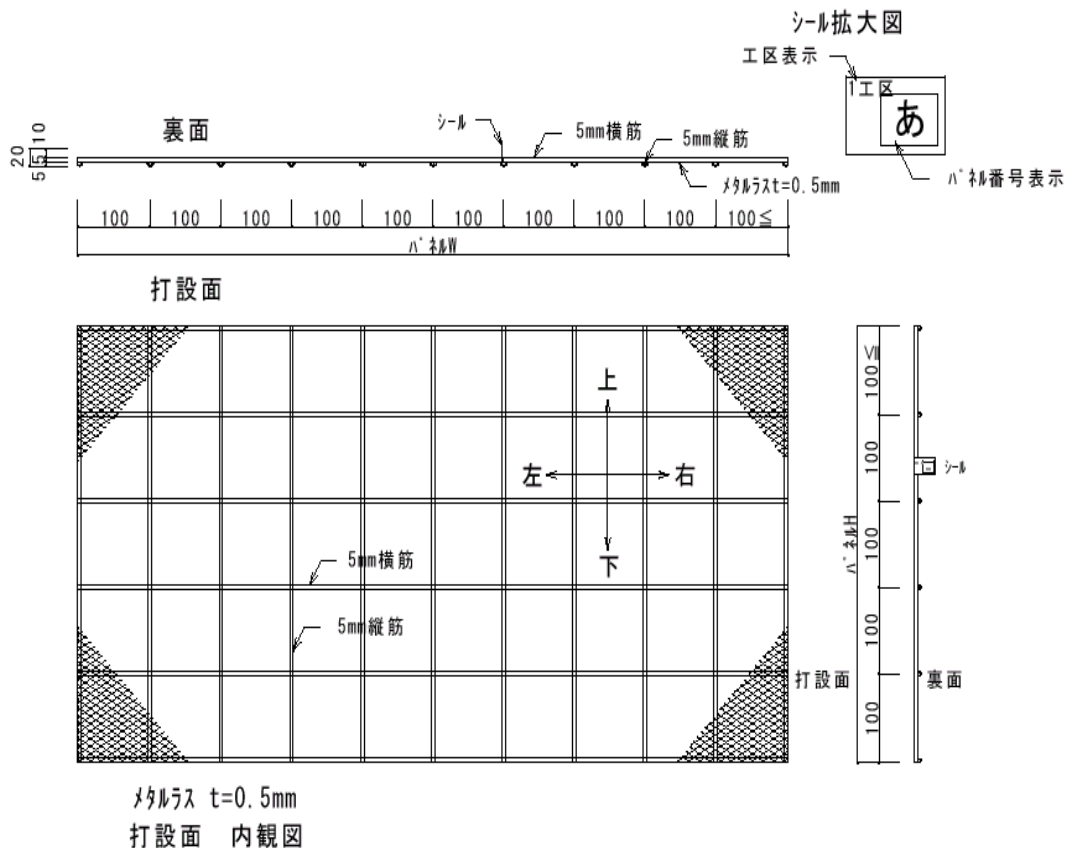
材料・施工協力業者 西部スチール株式会社

# 1. 製品仕様

使用要項	捨てコン(基準コン)段差部枠	
材料	原版	溶接垂鉛メッキ鋼板及び鋼帯
	アミ厚	10mm
	網目	7mm*11mm
	アミ縦・横補強筋	5mm筋 溶接金網
	打ち込み鉄筋	D10mm筋 JIS G 3112
	U型鉄筋	D13mm筋 JIS G 3112
	番線	#14 JIS G 3505
	セパレーター	5mm筋 JIS G 3505

## ラスパネル

アミ骨組として縦横@100で5mm筋(JISG3551溶接金網仕様)が格子状に組んでいます  
 表面にはメタルラス $t=0.5mm$ が横5mm筋にスポット溶接されています  
 パネルには表裏がありパネル裏面にはシールを付け表示させています  
 パネルL曲げの場合、メタルラスが内側の場合は正曲げとし外側の場合は逆曲げと呼び  
 共通認識としています



## 工事概要

フーチングまわりでの梁底段差部及びF GとF B梁の交差段差部を、基礎捨てコン打設前の梁下段差部にラス枠を設置して、基礎捨てコンと同時に打設し梁下の空間を先行して埋め戻す（打設する）工法

## 2.事前打ち合わせ

### ①構造図面にて積算・見積もり

ベース回り・F GとF B段差、それぞれのヶ所数を算出する。  
枠高さは構造図面の段差に50mm足して算出・製作する。  
枠幅は構造図面の梁幅に200mm足して算出・製作する。

### ②工程の確認

ベース捨てコン枠及び地中梁捨てコン枠設置後の施工とする。  
梁の捨てコン枠の栈木は100mm以上段差部へ突き出してもらう。

### ③施工時の確認

基本、段差枠はベース捨てコン枠栈木に50mm食い込ませてセットする。  
段差や施工業者に支障が出ないか確認する

### ④工区分け・資材置き場の確認

材料をある程度工区毎の束にして搬入、根切り底に置けない次工区のマテリアル置き場の確認

### ⑤搬入車両の確認

一般に600㎡までの搬入車両は4 t 車または8 t 車を使用とする  
また荷下ろしの際、レッカーの有無を確認する。（梱包重量は最大800 k g 程度）

### ⑥作業通路・法面からの昇降設備の確認

### ⑦請負項目の確認

### 3.施工手順 概要

- 1 掘削
- 2 計測・捨てコン枠・砂利引き・ポイント出し
- 3 梁ぞっこん枠を設置 . . . . . 当社請負及び資材販売
- 4 枠に砂利入れ
- 5 捨てコンクリート打設
- 6 墨出し(親・子)
- 7 アンカー設置
- 8 鉄筋組立 . . . . . 当社請負 可
- 9 在来型枠またはラス型枠組立 . . . . . 当社請負 可
- 10 コンクリート打設

## 施工手順

### 4. 施工前指示・状況

段差部図1。梁の構造幅寸法から片側100mm広げた位置に棧木柵を設置し  
段差部方向へ棧木柵を100mm以上飛びだして設置してもらう

図1



図2

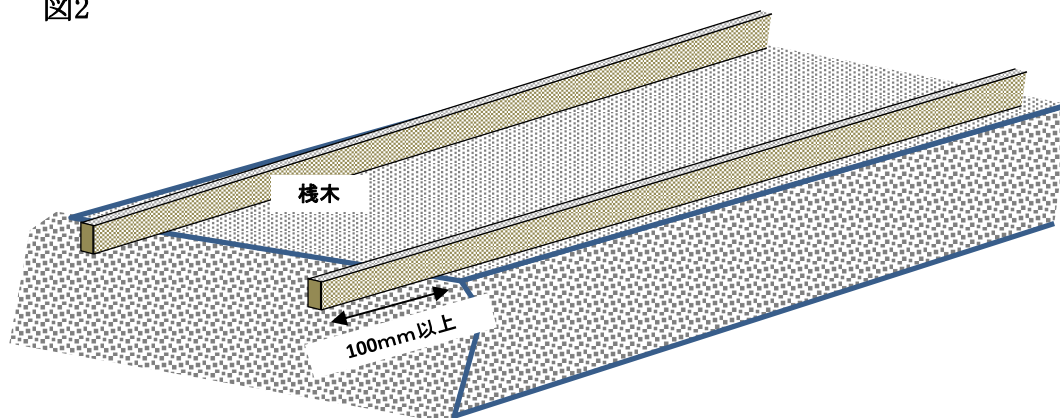
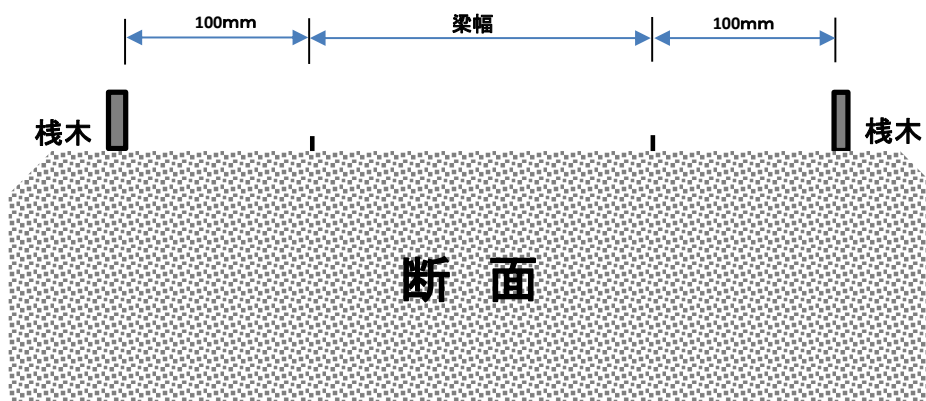
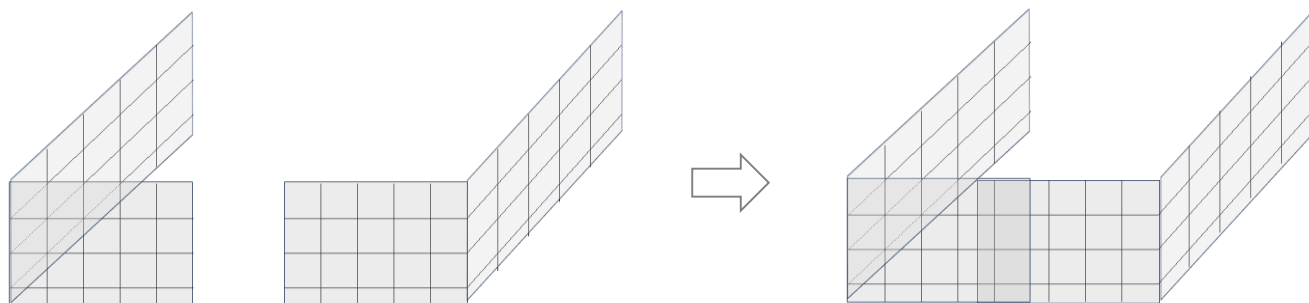
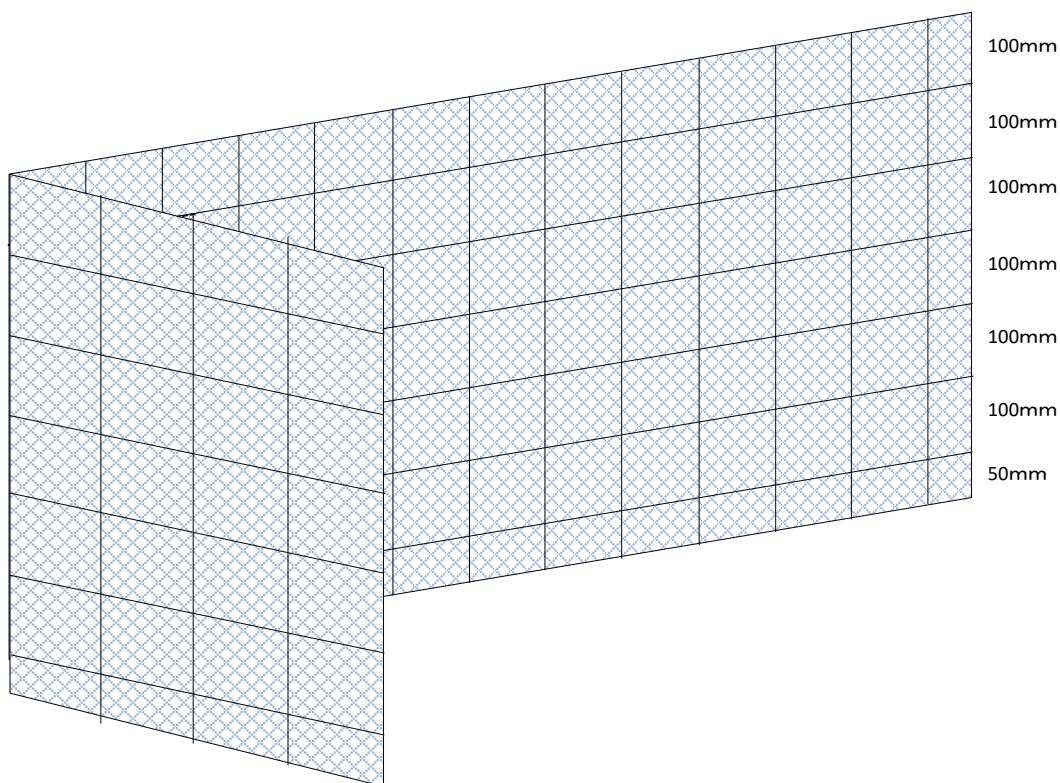


図3



## 5.パネル加工指示

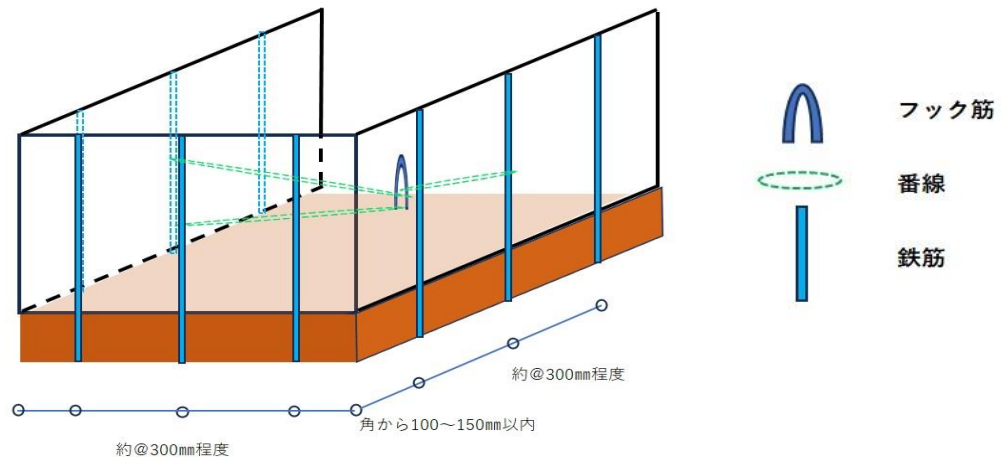
高さは段差寸法プラス50mmで加工指示、横幅は構造寸法プラス300mm割る2の切りのいい寸法でパネルをL曲げ加工(正曲げ=アミ内側張り)とし、全長は基本は800mmで製作する。また、現場状況により全長は変更可能です。(搬入約10日前まで)  
※パネル寸法によっては、50mmの位置に骨組筋がつかない場合があります。



## 6. 施工方法

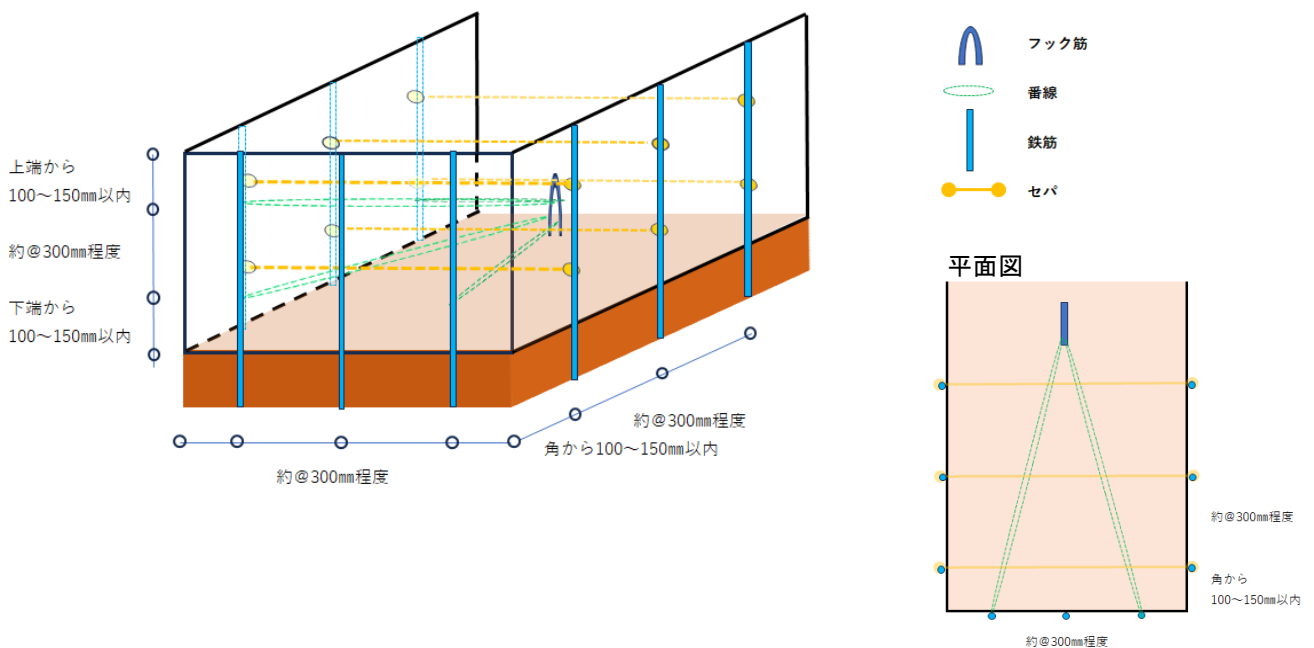
### 段差寸法200mm未満の場合

段差根切りに合わせてアミをカット・内側に折り曲げ、ベース捨てコン枠内に50mm食い込ませ中央部を重ねて設置し、鉄筋(D10)は下図の間隔で地中に約200mm打ち込む。また、ラス枠内U型鉄筋を打ち込み下図の通り、長番線で膨らまない様に締める。



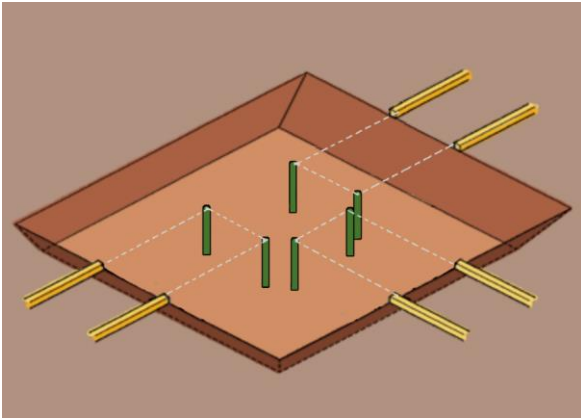
### 段差寸法200mm以上の場合

段差根切りに合わせてアミをカット・内側に折り曲げ、ベース捨てコン枠内に50mm食い込ませ中央部を重ねて設置し、下図の間隔でセパを設置する。(網は穴を空けて通す) 鉄筋(D10)はセパ両端の穴に差し込み地中に約200mm打ち込む。ベース面も同じように下図の通り、鉄筋(D10)を地中に約200mm打ち込む。また、ラス枠内U型鉄筋を打ち込み下図の通り、長番線で膨らまない様に締める。

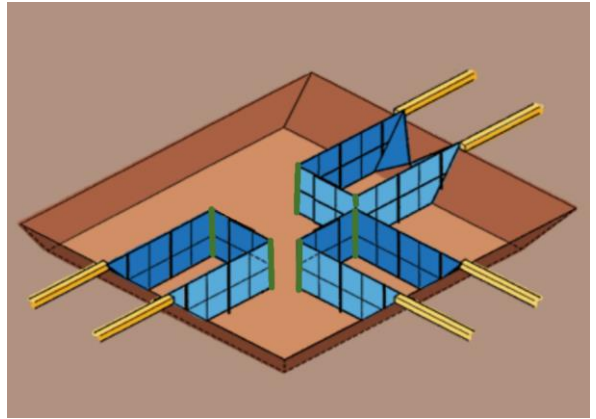


# 梁ぞっこん施工手順

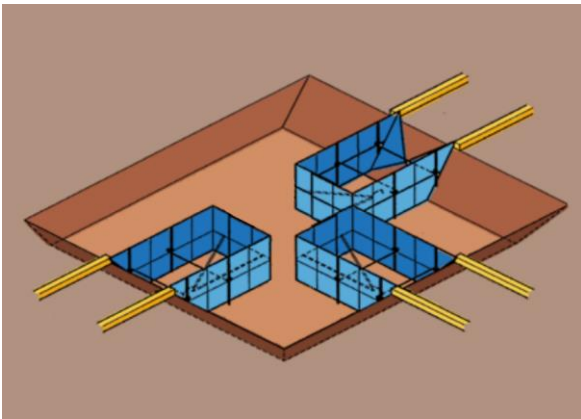
① ラス枠の位置出し



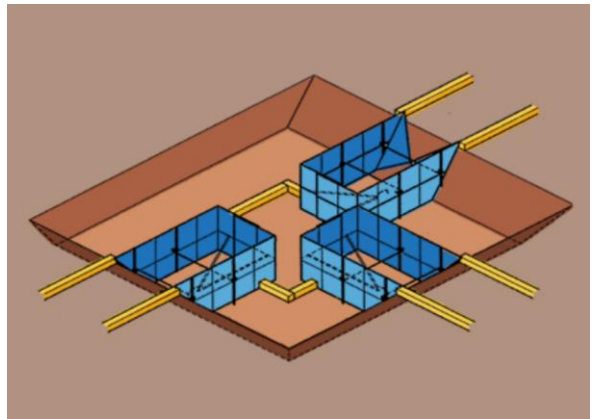
② ラス枠の設置



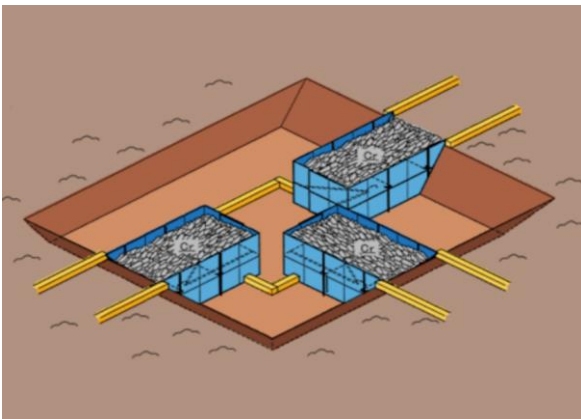
③ ラス枠の固め



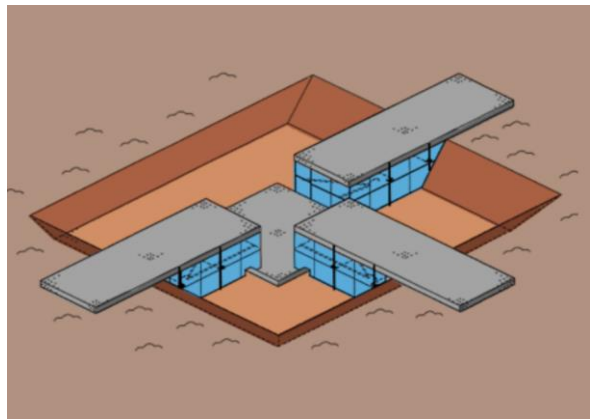
④ ベース捨てコン枠設置



⑤ ラス枠内に碎石の充填



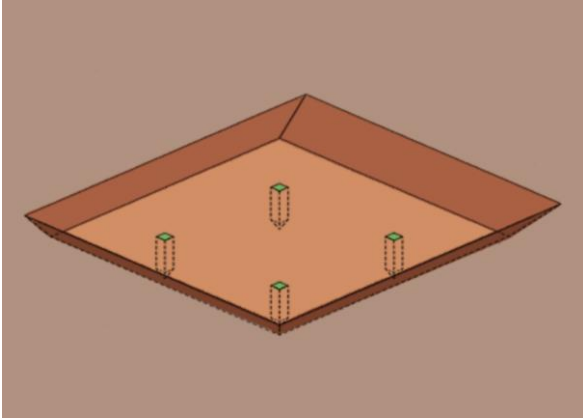
⑥ 捨てコンの打設



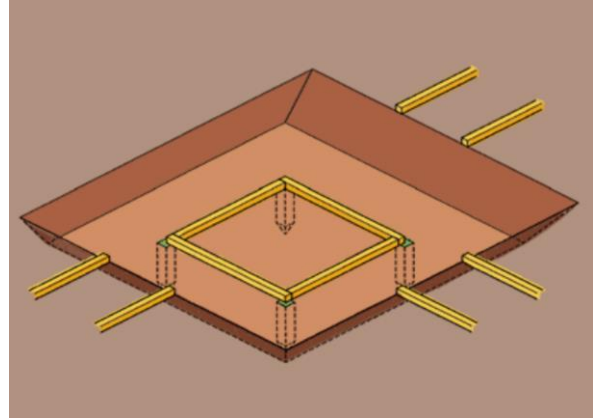


# 梁ぞっこん施工手順

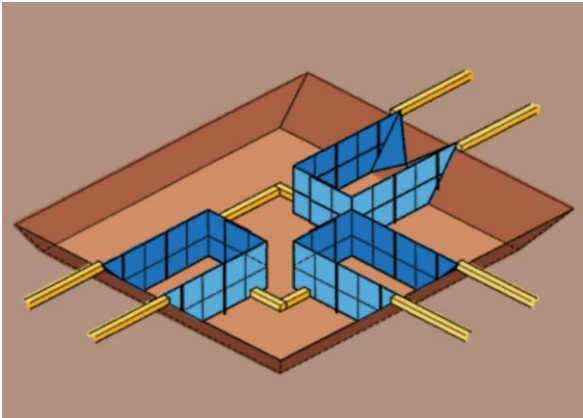
① 床付け後の位置出し



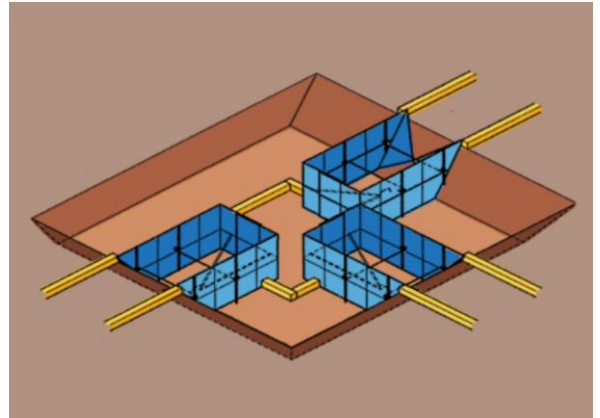
② 捨てコン枠の設置



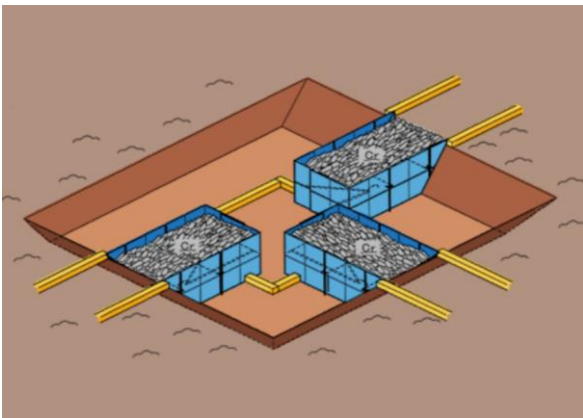
③ ラス枠の設置



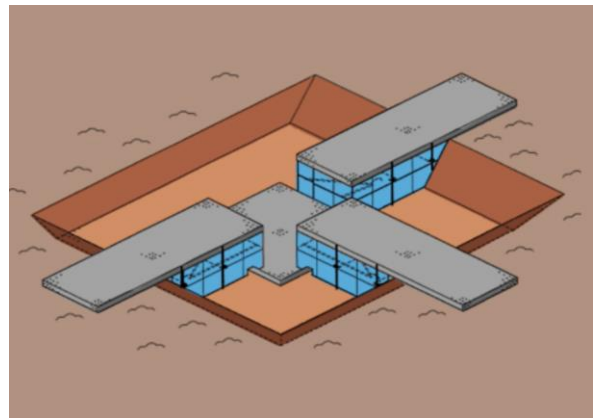
④ ラス枠の固め



⑤ ラス枠内に碎石の充填



⑥ 捨てコンの打設



## 7.施工完了後

### (エ)自主検査

- ① ラス枠天端が梁の捨てコン止め桟木枠天端と同レベルか(-10mm+20mm以内)
- ② ラス枠の幅が捨てコン止め桟木幅とほぼ同等か(±10mm以内)
- ③ 基礎・FG捨てコン止め桟木よりラス枠を食い込ませる寸法は適切か(60mm以内)
- ④ まとめ時のフック筋からの番線止めは適切か(番線にたるみがないか)
- ⑤ 残材の片付け処理は済んでいるか

(オ)現場担当者へ施工・検査終了した際、各工区毎に報告

### (カ)打設時の確認指示

- ① パネルに足をかけない・ひっかかないよう注意する
- ② ラス枠内に砕石を充填する場合はアミ天端から50mmとする。
- ③ ラス枠内の砕石を充填しない場合の打設高さは600mm未満とし、それを超える場合は分割して打設する。

### (キ)次回の工程確認



# ポイントの位置出し

100mm+梁幅+100mm

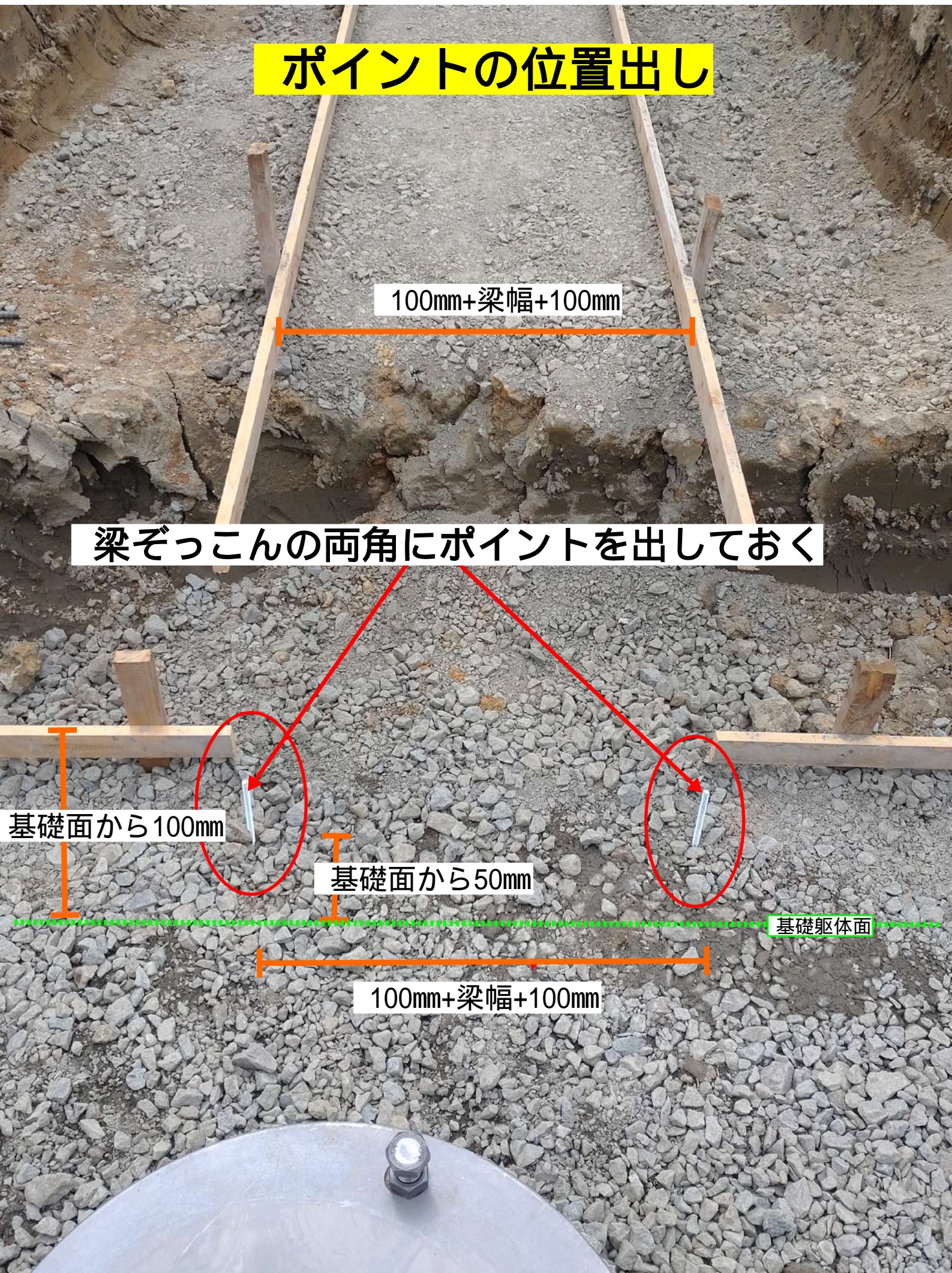
梁ぞっこの両角にポイントを出しておく

基礎面から100mm

基礎面から50mm

基礎躯体面

100mm+梁幅+100mm

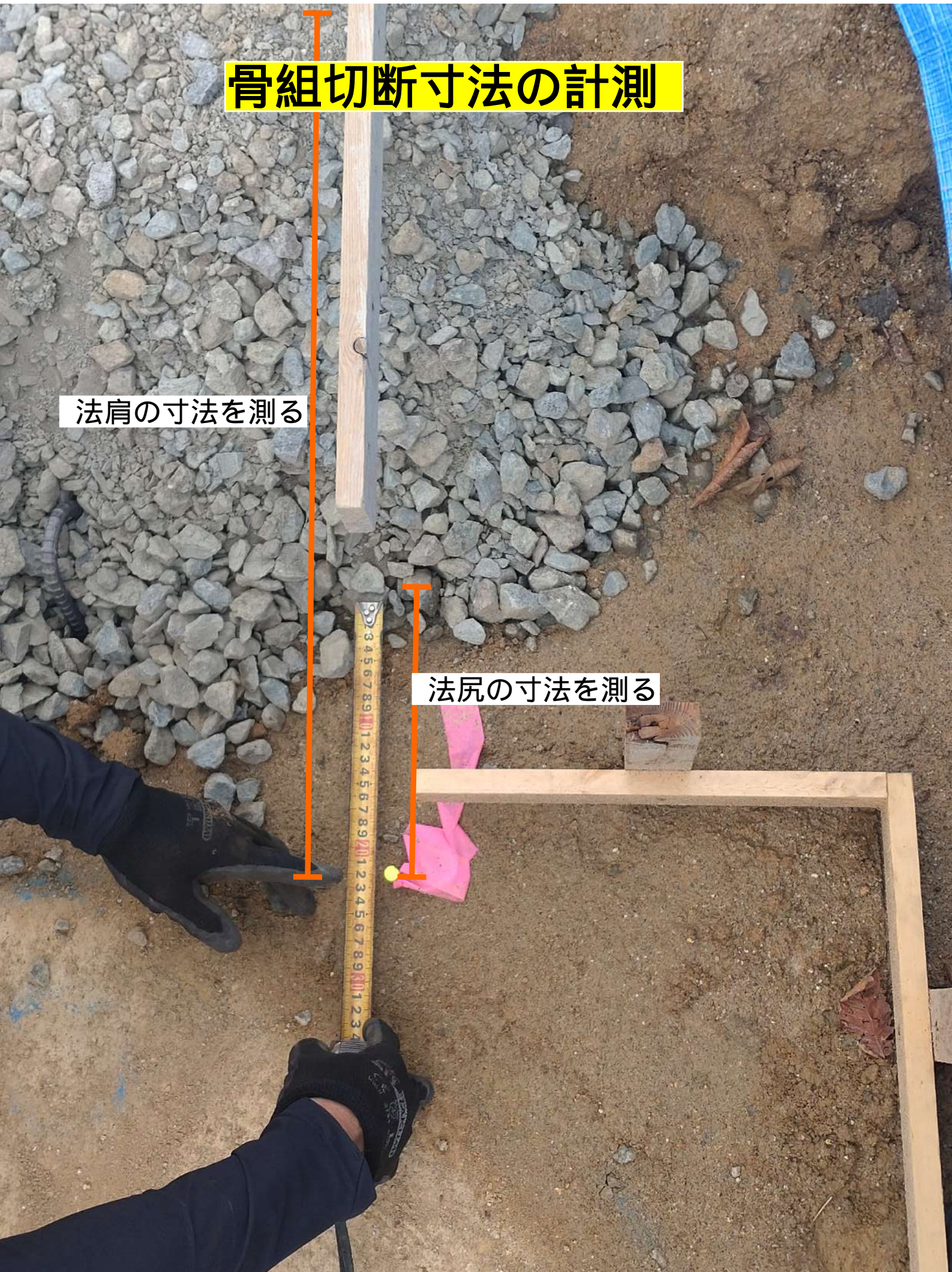




# 骨組切断寸法の計測

法肩の寸法を測る

法尻の寸法を測る





# 骨組切断及び設置方法

法肩

骨組切断箇所

法尻

内側に折り曲げてセット

